

令和元年8月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年8月分について、輸出は「船舶類」などが増加したものの、「自動車」、「鉄道用車両」などが減少したことから対前年同月比14.9%の減少となった。また、輸入は「有機化合物」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが増加したことから、同27.0%の増加となった。

その結果、差引額は861億円（同36.9%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,770億円	▲14.9%	908億円	+27.0%	861億円	▲36.9%
	2カ月連続の減少		2カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)船舶類	28億円	+16.8%	輸入	増加品目	(1)自動車	839億円	+28.6%
		(2)金属鉱及びくず	8億円	+13.2%			(2)鉄鋼	26億円	+7.5%
		(3)自動車の部分品	3億円	+27.8%			(3)非金属鉱物製品	1億円	+743.7%
	減少品目	(1)自動車	1,665億円	▲14.0%		減少品目	(1)有機化合物	2億円	▲52.4%
		(2)鉄道用車両	—	全減			(2)無機化合物	1億円	▲53.5%
		(3)鉄鋼	22億円	▲15.9%			(3)コバルト及び同合金	1億円	▲51.1%
	地域別動向					地域別動向		西欧、北米が増加、アフリカは減少	

（参考）ドルレートは、107.21円（前年同月比3.7%、4.12円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。